

# デジタル紙芝居で発表しよう！

横浜市立東希望が丘小学校 安富直樹

1. 授業単元名「デジタル紙芝居で発表しよう！」

2. 教科 社会科, 総合的な学習の時間

3. 3～6年

4. 使用アプリケーション

Adobe PremiereElements( アドビ プレミアエレメンツ )

Adobe Photoshop Elements 3.0( アドビフォトショップエレメンツ )

5. ねらい

デジカメで撮りためた写真を見せるときに、ただのスライドショーが、ちょっとした工夫で映画のようになり、このときに、どの写真をどの順番で並べるのか、どんな効果を使うのか、音楽はどれを使えばよりイメージに合うのかなど、子どもたちに身につけさせたい総合力を育てることができる。模造紙に頼ってきた社会科学習の発表が、ひと味違ったものになる。

- ・【ストーリーボード】を活用して、全体の構成をどうすればよりわかりやすく伝えられるのかを考えることができる。(社会)
- ・どこにどのような説明(テロップ)を入れれば、自分の思いや意図が効果的に伝わるのかという表現力が育つ。グループで一つの作品をつくるときは、企画力も育てることができる。(社会・総合)
- ・静止画や動画など、使い分けて表現することができる。(総合)

6. 活動の流れ

※最初に完成したものを例として見せる。

できあがりイメージできるので、意欲的に取り組める。

- ①フォトショップエレメンツを[写真整理モード]で起動し、使用する画像を選ぶ。
- ②【ファイル】→【PremiereElementsへ送信】をクリックする。
- ③プレミアエレメンツが起動し、タイムラインに画像が配置される。
- ④【新規作成】→【タイトル】でタイトルをつくっていく。
- ⑤音楽をBGMとして貼り付ける。
- ⑦【保存】で、このプロジェクト(作業)を一度保存する。
- ⑧ビデオファイルとして書き出す。
- ⑨できた作品を見せながら発表する。

7. 授業のコツ

- ・静止画を動画にするとき、グループ活動で行えば、どのように見せれば効果的なのかを、子どもたちはよく考え、話し合う。このとき、個と集団のかかわりが見られ、子どもの成長を教師が感じることができる。「コミュニケーション力」が、作品を仕上げていく過程で育っていく。
- ・テロップをつくるときは、短い言葉でどう書けば、より効果的に説明ができるのかを考えさせる。(教師が1枚の写真をもとに2つのテロップ例を示し、どちらがよいのか考えさせてもよい。)
- ・音を貼り付けるときは、著作権への配慮が必要となる。ホームページ素材集「音楽版」やインターネットのフリー素材などを活用したい。
- ・なかなか一度では、子どもたちが「使える」までにはならない。意図的に動画編集の機会を設け、繰り返し活用するようにしたい。(学習時間にも余裕を持ちたい。)



# デジタル紙芝居で発表しよう!

横浜市立東希望が丘小学校 安富直樹

KEY WORD - スライドショー Premeiere Elements に送信 タイムストレッチツール タイトル

- ① フォトショップエレメンツを [写真整理モード] で起動します。



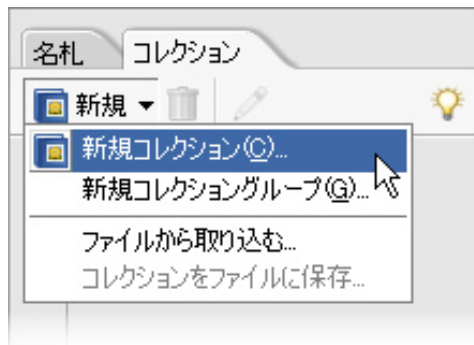
スタートアップスクリーンから、「写真の表示と整理」をクリック



- ② スライドショーにつかう写真を集める「コレクション」を作成します。

コレクションとは、さまざまな目的で使う写真を集めておくグループです。

コレクションウィンドウの【新規】から【新規コレクション】をえらんで、スライドショー用のコレクションを作成します。

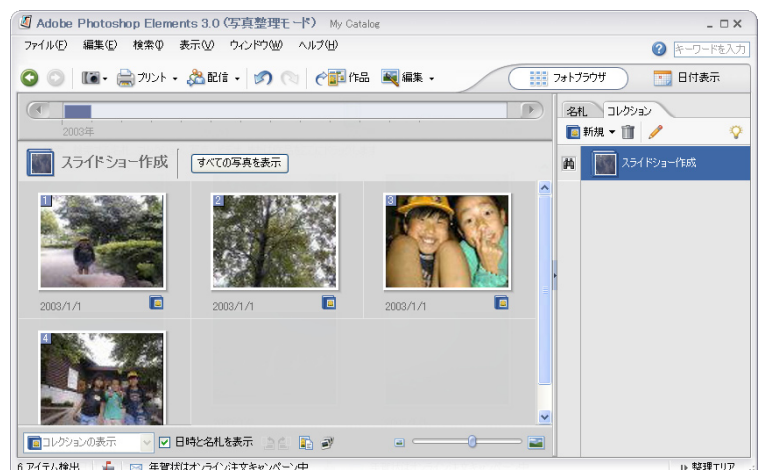


- ③ フォトブラウザで、コレクションのアイコンをスライドショーにつかう写真にドラッグ&ドロップします。

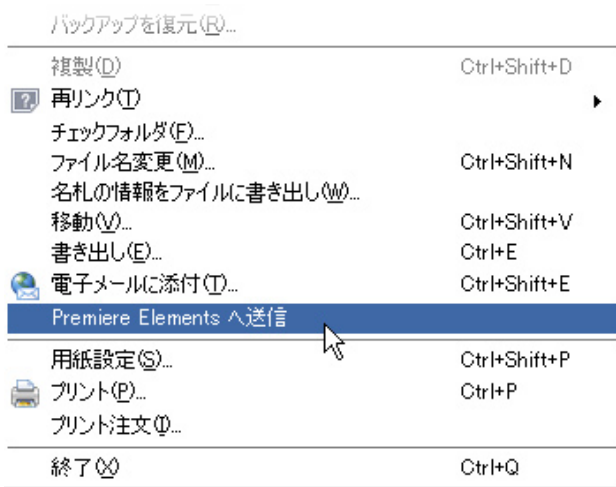


コレクションに追加した画像には、目印にアイコンがつきます

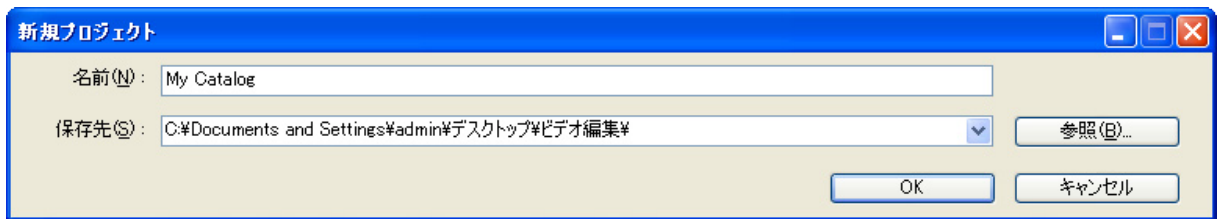
- ④ コレクションの左にあるチェックボックスをクリックし、コレクションに追加した写真だけを集めます。画面の中でサムネイルをドラッグして、表示したい順番に並べ替えます。できたら、使う写真すべてを選択します。



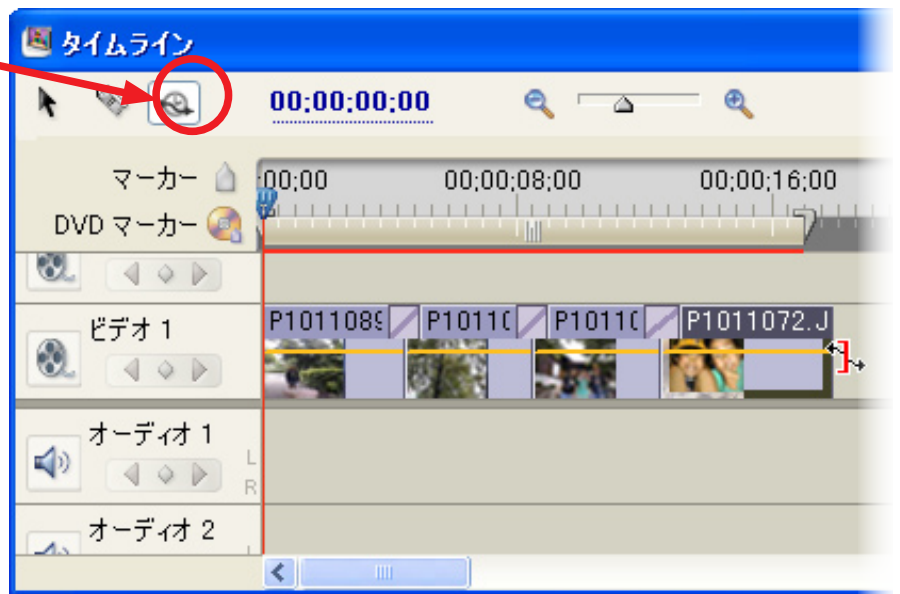
⑤ 【ファイル】 → 【PremiereElements へ送信】 をクリックすると、プレミアエレメンツが起動します。



⑥ 「新規プロジェクト」画面で、プロジェクトの名前と保存場所を決めて「OK」を押すと、画面が開いてタイムラインに画像が配置されます。



タイムストレッチツールでクリップの端をドラッグすると、表示される時間を長くしたり短くしたりできます。



**ここまでで、静止画が動画となった作品が出来上がります。**

※ここでは、PhotoshopElements3.0の機能を使って素材となる写真を選ぶ方法を紹介しましたが、使う写真があらかじめまとまっている場合は、プレミアエレメンツの【メディアを追加】でファイルを読み込み、メディアウインドウ上で順番を決めてタイムラインに配置することもできます。詳しい手順は、発想支援マニュアル「ストーリーボードで簡単編集をしよう」を参照してください。

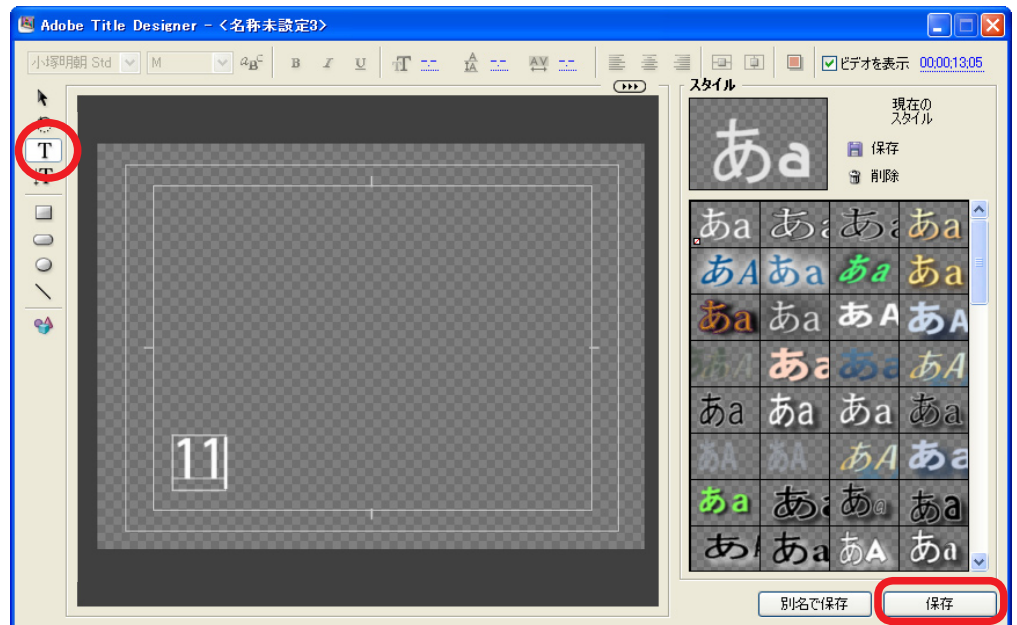
## デジタル紙芝居で発表しよう!

D-project 授業実践マニュアル  
Adobe® Premiere® Elements®  
Adobe® Photoshop® Elements®3.0

- ⑦【新規作成】→【タイトル】で、  
タイトルをつくっていきます。

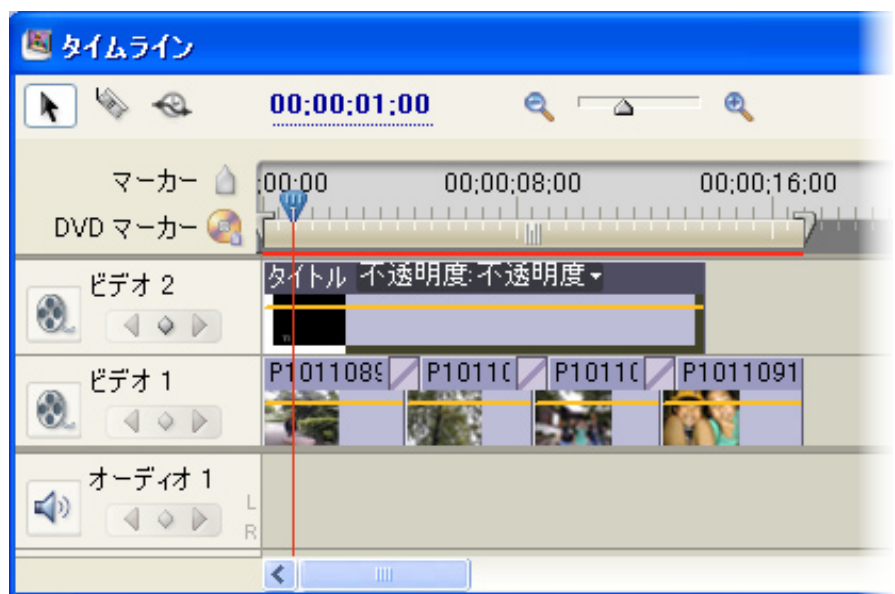


最初に開いたときは、文字以外は後ろの映像が見えるようになっています。  
このタイトルは、保存すると「メディアウインドウ」に追加されます。



マウスでつまんで、「タイムライン」の「ビデオ2」に置き、  
表示させたい長さをマウスで  
調節します。

この作業は、教師が子どもたちに1つ1つ提示しながら、  
とにかく最後まで一気に説明  
することがポイント。  
最後まで説明をしてから、よく  
理解できなかった子どもには  
個別指導します。



**ここまでで、テロップが入った動画作品が出来上がります。**

⑧音楽を BGM として貼り付けます。

【メディアを追加】をクリックして音楽のファイルを読み込みます。メディアウインドウから「オーディオ 1」にマウスでつかんで置きます。音楽の長さに注意します。

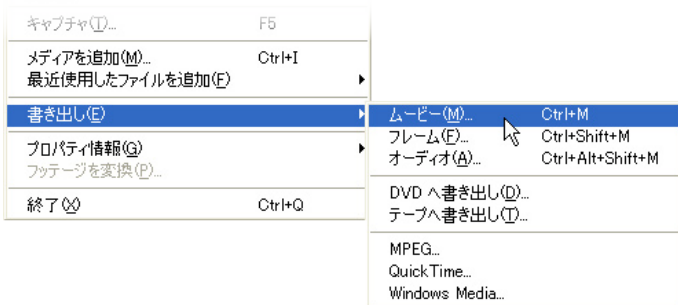


※ CD などから音楽を取り込むときは、著作権に十分留意してください。  
 ※ CD から wav ファイルを取り出すには別のソフトが必要です。(例えば、「B's Recorder GOLD5」など。) CD からの音楽の取り込みについては、発想支援マニュアル「CD から音楽を取り込もう！」を参考にしてください。

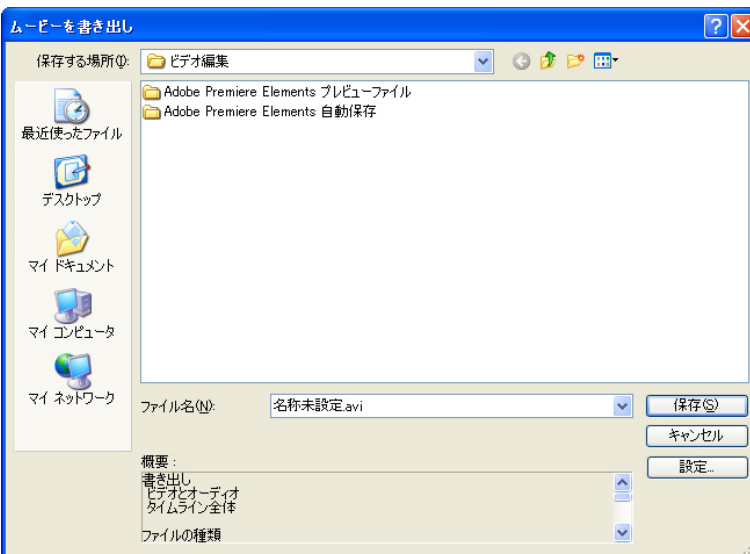
⑨【保存】で、このプロジェクト（作業）を一度保存します。

**ここまでで、音楽とテロップが入った動画作品が出来上がります。**

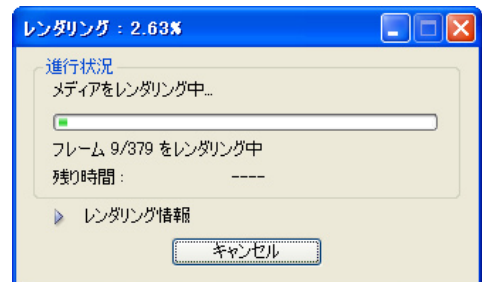
⑩ビデオファイルとして書き出す。



【ファイル】→【書き出し】→【ムービー】で、作品に仕上げます。子どもたちは、【保存】するとビデオができていると思っているので、この【書き出し】は、特に注意する点として、力説します。



作品の長さやコンピュータの性能によって、書き出しの時間が変わってくる。



⑪できた作品を見る。

もっと直したいところ（テロップや音楽）も出てくると思われる。時間に余裕をもって取り組ませたい。